

洛中・洛北の初詣

(第 67 回くらわん会 2001/01/09)

今日は世界文化遺産の下鴨神社－賀茂御祖(みおや)神社、上賀茂神社－賀茂別雷(わけいかづち)神社から洛北の山里を歩いていく。一行は太古の面影を伝える「糺の杜(ただしのもり)」の広い参道を行き下鴨神社にやってきた。この社は京都で最も古い神社であり、国宝の神殿を始めふるさびた多くの社殿が建ち並ぶ。本殿前に干支の守り神があり、それぞれの神々に厄除けを祈願する。

出雲路橋から鴨川左岸の河川敷を上賀茂橋まで歩いていく。この頃になると、朝に雪がちらついていたのが嘘のように、暖かい陽光が差し出してくる。鴨の流れにはユリカモメや白鷺が羽を休めており、かなたには北山の峰が望まれ、たおやかな早春の風情が感じられる。

一の鳥居を抜けて広い上賀茂神社の境内は広い芝生に覆われている。荘厳な山門を抜けて初詣の客も少ない神殿でそれぞれが願をかけて今年の平安と安泰を祈った。優美な曲線を描く桧皮葺の屋根が深い杜に陰を落としている。神殿の前には一対の円錐形の立砂があり、神様が降りられるよりどころになるという。暖かい日射しを浴びながら、境内の芝生で昼食を摂る。

二葉姫稲荷神社の参道を登って、山裾を行くと森の中にひっそりと佇む大田神社。天照大神にゆかりのある神社で縁結びでも有名、また季節にはカキツバタで知られた太田の沢が鳥居横にある。

洛北の風情のある竹林の小道を歩いていくと、

新春初めのくらわん会、出町柳の葵公園に集まった百十八名の面々は互いに新年の挨拶と今年もまた元気に歩けることを祝する



糺の杜(ただしのもり)を抜けて賀茂御祖(みおや)神社→下鴨神社に向かう



太古の面影を伝える「糺の杜(ただしのもり)」の広い参道を下鴨神社に向かう



山門とは対照的に厳かな檜皮葺きの本殿の参拝に向かう



下鴨神社－賀茂御祖(みおや)神社は京都で最も古い神社、国宝の神殿を始めふるさびた多くの社殿が建ち並ぶ



出雲路橋から鴨川左岸を歩く、朝に雪がちらついていたのが嘘のように、暖かい陽光が射し出してくる

深泥池が見えてくる。低地には珍しい氷河期から残る高層湿原の池で浮島などもあり、珍しい動植物の群落は天然記念物に指定されている。

目の前に比叡山を望みながら円通寺裏の洛北の田園地帯を歩く。今人気ブランドになっている京野菜のふるさとである。

叡山に見下ろされた国立京都国際会館の前で今年最初の例会を無事解散した。

富田朝己記



上賀茂神社の一の鳥居をくぐると、しだれ桜の点在する広い芝生の境内がある

荘厳な山門を抜けて初詣の客も少ない神殿でそれぞれが願をかけて今年



優美な曲線を描く檜皮葺の屋根が深い杜に陰を落とす神殿でそれぞれが願をかけて今年の平安と安泰を祈った

神殿の前には一対の円錐形の立砂があり、神様が降りられるよりどころになるという



暖かい日射しを受けながら境内の広い芝生で昼食を摂る

曲水の宴の復活のために造られた渉溪園





二葉姫稲荷神社の参道を上がって山裾の道を太田神社に向かう

太田神社は賀茂社の中では最も古い、鳥居横にカキツバタで有名な太田の沢がある



洛北の風情のある竹林の小道を歩いていくと間もなく深泥池に着く

深泥池は低地には珍しい氷河期から残る高層湿原の池で、浮島などもあり珍しい動植物の群落は天然記念物



円通寺は比叡山を借景にした見事な庭園で有名

目の前に比叡山を望みながら円通寺裏の洛北の田園地帯を歩く、今人気ブランドになっている京野菜のふるさとである

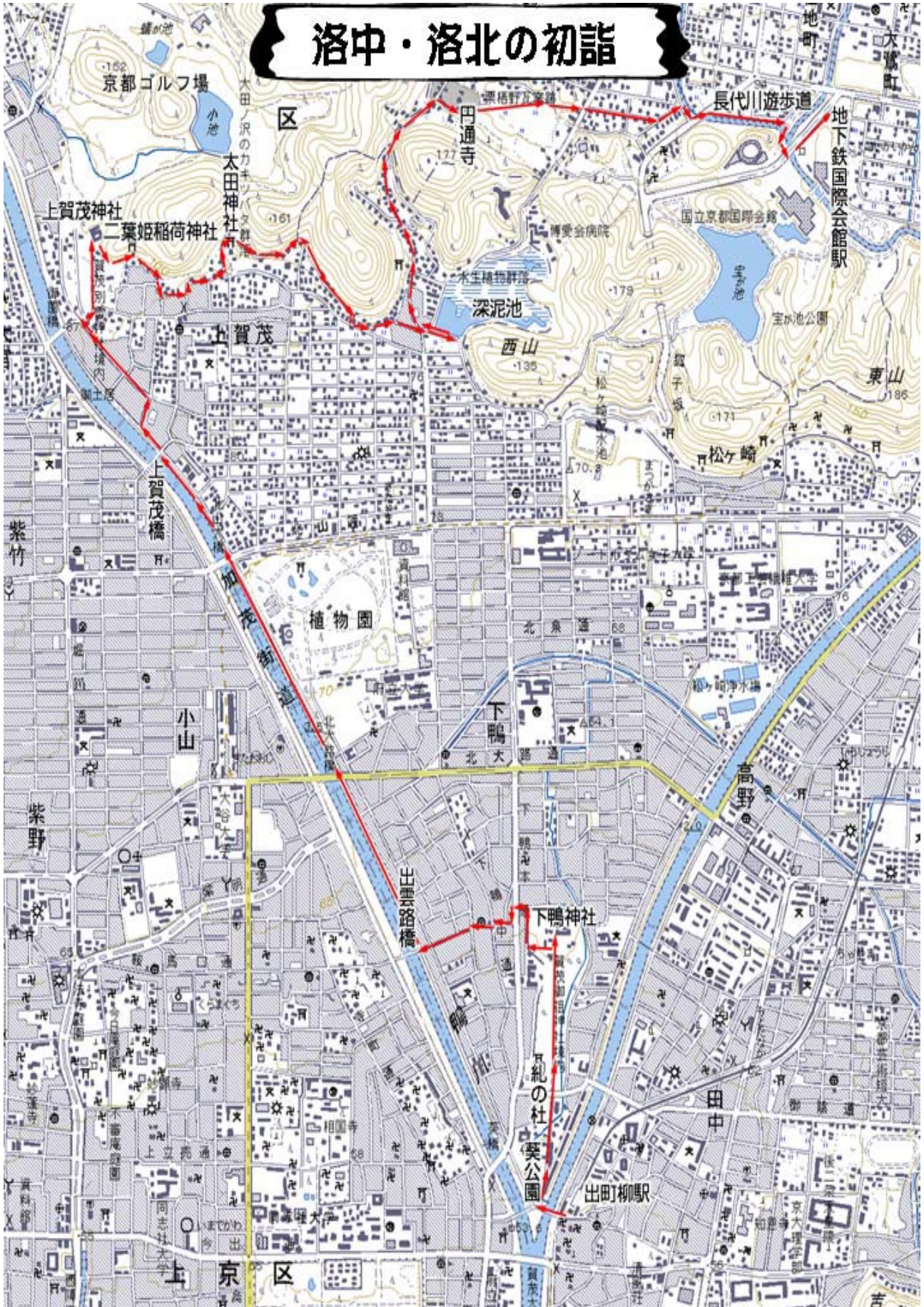


叡山を見ながら長代川の遊歩道を行く、対岸には宝ヶ池プリンスホテルがある

京都地下鉄烏丸線国際会館駅で解散、ここからは近鉄乗り入れて丹波橋まで直行



洛中・洛北の初詣



<行程>

京阪出町柳駅⇒下鴨神社⇒出雲路橋⇒上賀茂神社⇒二葉姫稲荷神社⇒太田神社⇒深泥池
⇒円通寺⇒栗栖野瓦窯跡⇒長代川遊歩道⇒地下鉄国際会館駅 8km

2002年01月09日 118名参加